

10月27日～11月9日の秋の読書週間に合わせて
まえばし図書館まつりを開催

固 市立図書館 ☎027-224-4311
前橋こども図書館 ☎027-230-8833
下表のとおり開催します。

イベント名・内容	日時	会場	対象・申し込み
企画展示「時代を走り、書き、伝える一昭和から今を見つめて」 今年は昭和 100 年、戦後 80 年の節目の年。激動の昭和を図書館・文学・スポーツの観点から振り返ります。	10 月 7 日(火)～ 11 月 30 日(日)	市立図書館 2 階 展示室	 市立図書館
企画コーナー「戦後 80 年一平和の尊さを語り継ぐ」 戦争や平和、読み語り芝居作品関連資料のコーナー。	10 月 7 日(火)～ 11 月 9 日(日)	市立図書館 1 階 中央図書室	
本の福袋「〇〇袋」 年齢・テーマに沿った絵本や児童書を袋に入れて中身がわからない状態で貸出し。	10 月 23 日 (木) からなくなり次第終了	前橋こども 図書館	
特集棚「前橋こども図書館と同じ年の絵本たち」 同館ができた平成 19 年に出版された絵本を集めました。	10 月 27 日(月)～ 11 月 25 日(火)		
映画上映会 ばちシネマ「巴里のアメリカ人」	10 月 30 日 (木) 13 時 30 分	市立図書館 3 階 視聴覚室	対 一般、先着 50 人 申 当日会場へ直接
多文化サービス特別講座「英語史からわかる英語の不思議」 英語にまつわるさまざまな疑問について歴史を紐解きながら学びます。	11 月 1 日(土) 10 時 30 分 ～ 12 時	市立図書館 地下講堂	対 一般、先着 22 人 申 10 月 8 日(木)から市立図書館 (☎027-224-4311) へ。または二次元コードの申し込みフォームが同館へ直接
読み語り芝居「戦後 80 年一平和の尊さを語り継ぐ」 市ボランティア団体連絡協議会所属「ヨロコンデ」による公演。①読み語り芝居「ホテル帰ってこい 知覧の特攻兵と食堂おばちゃん」 ②ふたり芝居「父と暮せば」 ③読み語り芝居の公開稽古「ひめゆりのうた 沖縄 1945」	① 11 月 1 日(土) 14 時 ～ 15 時 40 分 ② 11 月 2 日(日) 10 時 30 分 ～ 12 時 10 分 ③ 11 月 2 日(日) 13 時～ 16 時	市立図書館 3 階 視聴覚室	対 一般、先着 50 人 申 10 月 8 日(木)から①②は市立図書館 (☎027-224-4311) へ。または二次元コードの申し込みフォームが同館へ直接③は当日会場へ直接
高等学校連携事業 農産物販売会 & ふれあいミニ動物園	11 月 9 日(日) 10 時～ 12 時	市立図書館	—
ビブリオバトル バトル（発表者）がお気に入りの本を紹介。観戦者は自分が一番読みたいと思った本に投票し、チャンプ本を決定します。	11 月 9 日(日) 10 時 30 分 ～ 12 時	市立図書館 3 階視聴覚室	対 一般（バトル）先着 10 人（観戦者）先着 50 人 申 10 月 8 日(木)から市立図書館 (☎027-224-4311) へ。または二次元コードの申し込みフォームが同館へ直接
けん玉体験ブース	11 月 9 日(日) 10 時～ 12 時・ 13 時～ 15 時	市立図書館	
電子書籍体験会	11 月 9 日(日) 10 時～ 12 時	市立図書館 1 階 中央図書室	
スタンプラリー 館内を巡ってスタンプを集めます。		市立図書館	

3つの視点から
昭和を振り返る企画展

固 市立図書館 ☎027-224-4311
時 10月7日(火)～11月30日(日)
場 同館2階展示室

企画展示「時代を走り、書き、伝える一昭和から今を見つめて」を開催。今年は、昭和100年、戦後80年の節目の年。激動の昭和を図書館・文学・スポーツの3つの視点から振り返ります。第2期では、戦後から平成の出来事を取り上げます。

三浦雅士と「ユリイカ」「現代思想」
1970年代の知的情熱をたどる企画展

固 前橋文学館 ☎027-235-8011

1970年代は、多くの雑誌が創刊され、20世紀全体を検証する知的な動きが活発になった時代。その一例が、文芸評論家・三浦雅士さんが編集長を務めた雑誌「ユリイカ」と「現代思想」です。本展では、両誌を展示し、当時の知的情熱の一端を紹介します。また、誌面で活躍した執筆者や、雑誌に影響を受けた人々のエッセイ・映像なども公開。映像は会期中に同館公式 YouTube でも公開します。

時 10月4日(土)～来年1月25日(日)
場 同館
¥ 700円(高校生以下・障害者手帳を持っている人とその介護者1人は無料)

●観覧無料日＝10月4日(土)の展覧会初日、11日(土)・12日(日)の前橋まつり、28日(火)の群馬県民の日、11月1日(土)の萩原朔太郎生誕日、来年1月9日(金)の初市まつり

●関連イベント
①対談「1970年代から振り返る」ネット社会における雑誌づくりの可能性

出演＝文芸評論家・三浦雅士さん×同館特別館長・萩原朔美
時 10月4日(土)14時
対 一般、先着100人
②対談「昭和時代、最後の20年」いま再びエディターシップが問われる
出演＝三浦雅士さん×小説家・詩人・松浦寿輝さん
時 10月25日(土)14時
対 一般、先着100人
③講演会「吉本隆明、澁澤龍彦、大岡信」朔太郎、賢治、中也の後に
講師＝三浦雅士さん
時 11月24日(月)14時
対 一般、先着100人
申 以上の3つは同館へ
④担当学芸員による解説
時 10月28日(火)14時
申 当日会場へ直接



朔太郎の詩情とともに
幻想的な音楽の世界へ

固 前橋文学館 ☎027-235-8011

郷土の詩人・萩原朔太郎がこよなく愛したマンドリン。これにちなみ「マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭2025」を開催します。今年は20周年の節目の年。これまでの歩みを振り返りながら、磨き上げられた演奏を届けます。

●マンドリンオーケストラ演奏会
演奏会は3部構成。第1部・第3部は、青山忠さんの指揮で高校生と社会人・大学生の2つのマンドリンオーケストラが演奏。第2部は、同館特別館長・萩原朔美が監修・出演し、朔太郎の詩を朗読するほか萩原朔太郎作曲の「機織る乙女」のマンドリン独奏も実施します。

時 10月19日(日)14時
場 昌賢学園まえばしホール大ホール
対 一般、先着1,200人
申 当日会場へ直接
●同時期開催「前橋原風景写真展」
写真家の井上道男が撮影した昭和30年代の前橋の姿をパネル展示します。

時 10月16日(木)～19日(日)、10時～17時
場 昌賢学園まえばしホール小展示ホール

